

杉並ユネスコ協会青年部の平和学習



今年も、杉並ユネスコ協会の高校生・大学生 11 名と引率の役員 2 名が、3 月に広島を訪れ、平和学習を行いました。広島ユネスコ協会は 27、28 の両日、受け入れ・案内役に立ちました。

この広島平和学習は、1998 年から 25 年以上続いています。27 日には、原爆資料館を見学した後で、被爆者から被爆体験講話を聴き、被爆の実相について学びました。ウクライナから避難してきたウクライナ人大学生は、講師の石橋紀久子さんと話して、辛く悲しい思いを共感していました。

28 日には、広島放射線影響研究所を訪問し、研究員から研究所創設からの経緯や、現在の研究活動について説明を受けました。この日は、崇徳高等学校新聞部の 8 名と顧問の先生も参加。杉並ユ協と崇徳高校の若者たちは、講演後に交流会を行い、互いに質問し合い友好を深めていました。

(平和・世界遺産部会長 内田一士)



石橋紀久子さんから被爆体験を聞きました



広島放射線影響研究所(広島放影研)を見学



体験講話の・石橋さん(歓迎幕の後ろ中央)とともに